

2025年度インターンシップ事後報告資料

名前	谷口周哉
記入日	2026年2月9日
1日目： 1月12日（月） 活動場所：Oh My News 光化門事務所	
活動内容： パク・スウォン本部長へ挨拶、及び懇談会、編集局へ挨拶と市民記者登録。 イ・ジュンホ専任エディターによる“良い文章を書くには”講座 イ・ソンピル専任記者による“Kカルチャーを学ぶ”講座 オ・ヨンホ代表との会食	
感想や反省点： 記事を作成する上で、大衆に伝える上で重なる事や表現、主語や叙述語、二重表現等、言葉や表現の選択で購読者に伝わる印象等が違ってくことを学んだ。1つの事象に対してどのような印象を与えたいかは記者のワードチョイス次第で変わる理由を深く理解したとともに、これらが保守系メディアと進歩系メディアの違いを生み出すのでは無いかと考えた。夕方にはオ代表との会食にて、クムトゥリ学校を題材とした관찰야 앨리스の感想を共有したり、これからの子供たち、そして社会の幸福度を上げるにはどうすれば良いのか、またこれからのAI技術の進歩はどうなっていくのかについてが話題となりました。	
	
(Kカルチャー講座)	(オ代表との会食)

2日目： 1月13日（火） 活動場所：Oh My News 光化門事務所、한국노인인력개발원

서울지역본부

活動内容：

チェ・ウンギョン専任エディターによる“사는이야기 “についての教育、実習

한국노인인력개발원にて、広報部長との懇談会。超高齢化社会と高齢者の働き口

感想や反省点：

사는이야기는、購読者にとって公益的なものでなければならぬと教えを受けました。市民の日常での疑問や感じたことを共有する記事でもあるので、購読者にとって親近感のある内容でなければ共感を得るのは難しい。ただの日常を共有するのは日記やVlogのようになるので、上記にも記したように読み手にとって親近感があり、公益性を感じられるものを書くことが重要であることを学んだ。韓国語で記事を書く難しさもある反面、日本人記者である事を生かした、日韓の違いや文化について共有できる記事を書ける事が期待できると感じました。

한국노인인력개발센터では、超高齢社会の進む韓国にて、定年後の働き口を支援する取り組みを行っており、高齢者が抱える社会問題の解決のための機関として機能している。実際にこの取り組みを行ったおかげで、健康状態が改善され、保健医療費の減少など社会にとっても良い影響を与えている事を知った。日本もこれから高齢者が増加する一途を辿る事になるので、私たちにとっても親近感のある教育になったと感じました。



(사는이야기교육).



(한국노인인력개발원)

3日目： 1月14日（水） 活動場所：Oh My News 光化門事務所、世宗路、大韓民国歴史博物館、益善洞韓屋通り、（個人活動 景福宮、国立民族博物館）

活動内容：

クオン・ウソン専任記者による写真・映像教育

大韓民国歴史博物館、世宗路、広蔵市場、益善洞その他個人活動にて写真撮影。

感想や反省点：

メディアでは様々な写真が使用されているが、その場面を撮るのではなく、よりわかりやすい写真、臨場感のある写真。画角や視点、消失点などを細かく反映させて写真を撮り、それらが記事への没入感を与える事を学んだ。広角カメラであったり、ズームカメラ、またはドローンを使用して撮影を行うなど、その撮り方は多岐にわたる。公共の場で写真を撮るには肖像権の問題も生じるため確認や同意書の作成なども欠かせない。生成AIの発展により、写真に加工を加えて使用することもある。実際に教育終了後、大韓民国歴史博物館屋上にて景福宮を撮影、広蔵市場周辺や、益善洞の周辺にて写真撮影の課題を行った。私は数年前より気になっていた景福宮に隣接する国立民俗博物館にて撮影を行った。夕日と雪景色が相まって良い写真を撮ることができたと感じた。



（写真、映像教育）



（大韓民国歴史博物館屋上）



（国立民俗博物館）

4日目： 1月15日（木） 活動場所：汝矣島 国会議事堂

活動内容：

国会本会議場探訪

共に民主党国会議員、パク・スヒョン議員との懇談会

Oh My News 政治部記者達との懇談会

感想や反省点：

国会議事堂にて韓国の国会の仕組みや歴史についての案内を受け、実際に本会議場を一望できる傍聴席から本会議場を見渡し、人員数の多さや広さに驚いた。パク・スヒョン国会議員との懇談会ではちょうどその時期に日本の高市早苗首相と韓国の李在明大統領が会談を行ったタイミングであったため、パク・スヒョン国会議員は私たち日本人に合わせた首脳会談や、韓国で取り組んでいる地方の農業開発を日本と関連した情報や歴史を用いて終始笑顔で分かりやすい言葉でパク・スヒョン国会議員の日韓関係への展望を語っていた。



(国会議事堂)



(パク・スヒョン国会議員との懇談会)

5日目： 1月16日（金） 活動場所：Oh My News 光化門事務所

活動内容：

キム・シヨン専任記者によるファクトチェック教育

各自記事作成、修了式

感想や反省点：

最後は作成した記事を完成させる上で、用いた情報が正しい情報であるのかをチェックするファクトチェック教育を受けた。近年では生成AIの発展により、合成やディープフェイク画像を一般人が作成し、SNSに上げる事案も多数あるため、これらファクトチェックが重要な時代である事を再認識した。昼食にはパク・スウォン本部長も同席されており、日韓の情報を共有した。昼食後は作成した記事を完成させて修了式を行った。慣れない寒気の中でのインターンシップではあったものの、専修言語を活かした海外インターンであったため、日本と韓国のメディアの違いを体感できたと感じた。



(ファクトチェック教育)



(修了式)